

# UWWルール（グレコローマン）変更について(改訂版)

(公財) 日本レスリング協会  
審判委員会

※2016年の国体は、旧ルールで実施します。

## シニア階級の変更点について

リオデジャネイロオリンピック終了後、世界レスリング連盟（UWW）はグレコローマンスタイルのルール変更を以下の通り決定した。

- 1) 今までのシニアルールは廃止とする。
- 2) 新ルールはカデット・ジュニア・U23のルールに統一する。

## 消極的レスラーの摘発方法について

- 1) オーダードパーテールの廃止
  - 1回目 試合を止めず明確な口頭注意（レマーク）
  - 2回目 試合を止めずPを与える。
  - 3回目 試合を止めずP+1を与える。
  - 4回目 試合を止めずPを与える。
  - 5回目 試合を止めずP+1を与える。

\* 2回目のPで相手に1点を与えるが試合は中断しない。

\* 全ての年代の変更点は以下のとおりとする、

- 1) 全ての反則は「○+2」とする。
  - \* 頭突き・平手打ち・全ての脚を使う反則（攻撃者・防御者共）  
シングレットを掴む行為・指を絡める行為等（禁止事項）  
攻撃者の反則は1回目注意し、2回目は○+2とする。
  - \* 場外逃避・技術回避はダイレクトに○+2とする。
  - \* パーテールポジションのフライング（上・下の選手共）
  - \* スタンドの反則はスタンドからグラウンドの反則はパーテールからスタート。
- 2) 大技の投げの5点は継続。
  - \* 大技の投げからデンジャーにならない場合は4点を与える。(特例)
- 3) スタンドからダイレクトのデンジャーは4点。  
パーテールからリフトでのダイレクトデンジャーは4点

- 4) スタンドからのデンジャーにならない投げ技は2点（コレクトホールド）  
パーテールからリフトのデンジャーポジションにならない場合は2点
- 5) 場外に1足でた場合は従来通り、1Pとする。しかし攻撃選手が技をかけて1足でた場合はペナルティはなしとする。（技は有効な場合は得点が成立する。）  
\*押し出しはNo Point  
\*攻撃者は1足出たあとの技は有効とする。  
\*攻撃者は2足出たあとの技は無効とする。  
（技が成立しない場合は1点を失う。リフトアップして2足出た場合は失点はしない。）
- 6) パーテールの反則について  
\*パーテールでの防御者は両手を開いて守らなければならない。  
\*防御レスラーが攻撃レスラーのホールドを防ぐために肘を身体に近づけたり（脇を締める）肘や膝・脚を閉じることをしてはならない。  
違反するレスラーに対し、口頭注意が与えられ従わない場合、または再度行った場合は○+2点が与えられ再度、パーテールから再開する。
- 7) 全てのガッツレンチは2点とする。（回数に制限なし）  
\*攻撃者が肩をついた場合の失点は廃止する。

#### 追記

- \* チャレンジのVTRをみる審判員は  
審判長（インストラクター）  
ジュリー（スーパーバイザー）  
マットチャーマンの3名とする。
- \*ポイントはジュリーが提示し、プラスポイントはマットチャーマンが提示する。